

ゆめサロン

便り

令和 3年
2月19日
吉賀町ゆめサロン
No.482

ひかりの春



皆さまお元気でお過ごしのことと思います。

新型コロナウイルスと言うものにすっかり生活をかえられた昨今ですが、私達のゆめサロンも例外なく休会することになってしまいました。

皆様にお会い出来ないけれど、どうぞお体を大事にお過ごしくださいませ。春はすぐそこに来ています。光の春という素晴らしい言葉があることを知りました。降ったばかりの雪を春の光が照らしています。



川柳 やまゆりさん作

○嫁曰く おやつ間食 別の腹。

…貯蔵庫は別の部屋です。

○本命も 義理も素通り チョコレート。

…ハイ、見向きもしません！

○我が家での 換気は十分 すきま風

…三密ではありません

○髪・鼻毛 爪は伸びるが 背は縮む

…はい、どんどん縮んでます。

…遠い所から見守って下さり

いつもありがとうございます。楽しみに拝見しています。みんな元気をもらっています。

二月二十日

定例会を休みに

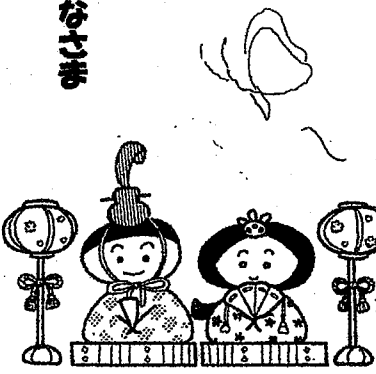
させて

いただいて



いつも会が或る時は皆さんに逢える楽しみでイキイキしているのですが、休みと言う事になると、学校をずる休みした気分になつて心が沈みます。コロナ禍の心配がなくなればまたお会いして楽しくすごしましよ。それまでお元気で

おひなさま



今年もおひなさまの時期になりました。コロナ禍で帰れない子供たちのためにお内裏様とおひなさまを飾っておこうと思います。我が家の歴史をみ

てきてくれたおひなさまは何を思っているでしょうか。家族同然だった猫のあることはお雛様の前に座つてじつと見ていたことを思い出します。

雛たろう



この季節になると思い出すことがあります。

私より十才くらい年上の男の人のことですが、病院の玄関で出会ったそのかたが私にいきなり声をかけられ

「あんたはわしを知つとるのに何でしらんふりしとるんか」といわれたのです。

「あーすみません。こんにちは」「いけんで握手」といわれて握手しました。いくら考えてもこの方のことは思い出せません。

近くにおられた知人の方に、あなたの方でしょうかと聞くと「あんた握手しようか」と聞くと不思議がられました。今もって思い出せません。

ゆめサロン

便り

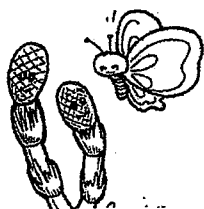
令和 3年
2月25日
吉賀町ゆめサロン
No.483

もう

春ですわ



皆様こんにちは
お変わりなくお過ごしのこと
と思います。新型コロナウイルス
という厄介なもののおかげで私達
の生活もかなり変わったように
思いますが、季節は平等にめぐ
ってくるものだと思いがいた、
露の薫をみつけた、めじろがい
た、と毎日を喜ぶ日々です。



お楽しみ
やまゆりさんの川柳コーナーです。

○白髪伸び 三つ編みしたら？

と

孫娘！

…ほつといてくれ！イヤジャ！

○顎が垂れ 尻も垂れたし

腹も出た。

…あちこちゆるみつばなしです、

○過ぎる日々 先が無いのに

なぜ早い。

…先が短いのに、もっとゆっくり

頼む！

○嫌いでも 冬が無ければ

春もない。

…寒いけど我慢しましょう！

○ウオーキング 日に日に縮む

距離歩幅。

…確実に縮んでいます。

今回も載せさせていただきました。

自分のことを言われているようで

納得しながら拝見しました。
ありがとうございました。

マスク生活

最近

どこに行くにも忘れてはい
けないのがマスクです。



先日郵便局に行った時のこと
です。男性の方がにこやかにお
じぎをしてくださいました。そ
のかたも例外なくマスクをし
ておられるのでどなたかわか
らないままお辞儀をしたので
すが、帰られるとき「お先に」
と言つて肩をさわられたので
知らない人ではないんだと気
づきじつと見つめた私です。そ
れは同じ地区の方でした。コロ
ナはいけないけどまだこんな
暖かい気持ちを伝える事を残
して下さった地区の方の触れ
合いに感謝し、マスクをしてい
るとはいえわからないという
鈍さを反省しました。
その数日後にその方が入院さ

れたときいて、自分の香気さを
情けなく思っています。
年を重ねるといふことは、いろ
んなことに気を配れと教えられ
たような気がします。

春がぐら



といえは神楽を思いますが、
どこの組にもあったことでしよ
うが昔からずっと続いたその地
区がまとまるための行事の一つ
です。名前はずっと昔からする
と変つて来たものでしょう。こ
の地区の昔の人は「春申し」と言
われたように思います。集まつ
て食事をして組の約束事を話し
合つたりしていました。その時
撮つてあげた写真を喜ばれて
「遺影にする」と言われて笑つ
たこともありませぬ。今はコロナ
でそれも出来ませぬ。早く普通
の生活に戻りたいものです。



ゆめサロン

便り

令和 3年
3月5日
吉賀町ゆめサロン
No.484

春のおと



皆様こんにちは

お元気のことと思います。

あちこちで春の音が聞こえるようになってきました。小鳥も、小川の水も車が通る道路の音も何か春に向かっていると感じるのは大げさでしょうか。時に寒くなり又暖かくなるを繰り返して春に向かっているようです。こんな時体調管理は大変です。お体大切になさって下さい。



やまゆりさんコーナー

いつもご投稿頂きありがとうございます。今回はどんな楽しみをくださるでしょうか。

○身についた 早寝早起き

八時—四時。

…ゴールデンタイムは夢の中。

○ボケぬ為 続けた川柳

ボケてきた。

…少しおかしくなってきました。

○孫が来る 財布の中身

数え待つ。

…少なくとも確認しておきましょう。

○歩きたび ぶらつく足に

軋む膝

…油切れです。

○肥えたわね その一言が

胸を刺す!

…ドキ!

今回も笑み浮かぶ数々達いところから有り難うございました。

一大事 の出来事



ある子と言う雑猫が二十年こ家にいたのは大学に行った末娘が持つて帰ってくれたからその間楽しく暮らすことが出来たのです。その間色んなことがありました。癌も経験しました。親もみんな他界しました。仕事も退職して世の中随分変わりしました。ある子が来る前にも長男が、親がぼけないためにヤギを飼えとかいろいろあったのですがそんな暇はないと聞く耳持たなかったのです。

でも娘の大事な猫を飼って、寂しいという心を忘れさせてくれたのです。ある子がいなくなつて…次を飼うには私達が年を重ねすぎていました。残された猫が可哀想だし生きていかれないと思つた夫はもう猫を飼つてはいけなさと許してくれないのです。ところが、大変な状況がおきました。ある

日、私がお風呂に入っていたら外で騒がしいのです。窓を開けるとそこら一面子ザルの群れです。それは見たこともない情景でした。ある子がいたときはみたくともありません。猫もいなからきつとバカにしているのだと思います。二時間位いました。そこで夫に頼んでみました。私らがいなくなつたら子供が飼つてくれるから猫をかわせてほしいと言うといいということになりました。夫曰く、

「今は二月猫といつて子猫はいないから四月まで待て」と、

「四月になつたらどこにいろの」

「それはわからん」

となんだか危なっかしいはなしですがまってみます。その後子ザルの群れはやってきません。まるで自然動物園です。

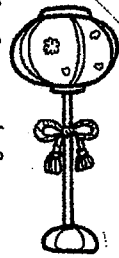


ゆめサロン

便り

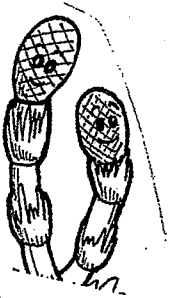
令和 3年
3月8日
吉賀町ゆめサロン
No.485

啓蒙も過ぎて



季節は進んでいきます。
皆様お元気で過ごさしのこととお慶び申し上げます

かぜはつめたいけれど春ですね。新型コロナウイルスが一日も早く収まり安心してサロン定例会が開けるようになるようにと祈る気持ちです。今回は少し早いのですがいつも川柳で応援して下さる方から、時事川柳を頂きましたので、古くならないうちに皆さまにみて頂きたくて四八五号を発行させて頂きます。



やまゆりさんコーナー

○生きてきた 長かったけど
早かった！
ホントに！

○夢がある 追っかけてるが
逃げて行く
待ってちょうだい！

○長男の 育児に手を焼く
総理殿。
総理！お悩みですか？

○下心 あるからやります
その接待。
当たり前でしょ！

○さあ選挙 寝てた先生
走り出す！
会議中寝てました、落選したら
寝られません！

○「何！七万？」うちの食費は
月・七万！
接待七万？何食った！

○宴会で 派手なやつほど
仕事地味。

○暗くなると元気です。

○持つものは 母ちゃん財布
わし荷物！
買物です。

○五時が来た 帰りたいのに
課長居る！
なんでや！

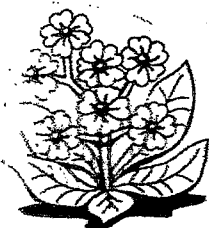
やまゆりさん、いつもありがとう
うございませす。みんな楽しませ
ていただき感謝していきませす。今
後ともお願い致します。

猫の話



この前、猫が欲しい事を書いたのですが早速出合いがありました。鴨たちが北帰行する前に一度和やかな様子を写真に撮りたいといって出かけまし

たところ、まるで待っていたかのように茶色い雑猫が私の足元に寄って来たのです。にやあくとは言いませんでした。ただひたすらホースから出る水をのんでいました。「茶々くん」というと飲むのをやめて私をみつめていました。そこは休憩所で車から降りて休む人や自動販売機から飲み物を買って飲む人などがおられてかなり賑やかでした。私は猫を持ち上げてみました。猫は驚いた様子もなくされるがままにしていました。そのまま車に入れて帰ることも出来るのですがそれでは泥棒なのでそれとおいて何食わぬ顔で車に乗りました。夫にその様子を話しても写真に撮った姿を見せても無視していました。大きくて六キロくらいある猫でした。私は夢を見たことにして帰路につきま



ゆめサロン

便り

令和 3年
3月16日
吉賀町ゆめサロン
No.486

春



あちこちで桜の開花の話題で賑わうようになりました。

皆様お元気でお過ごしでしょうか。この時期は何かと心が不安定な気分の私は若い頃習ったうたの歌詞を思い出し口ずさんで見ますと気持ちだけはその頃に帰って色々な事を思い出します。

又、芽吹いていない楓の枝に雨がかり真珠の様な水玉がいくつもついて、雨が上がると明るい空が反射して見える様子は宝物の様です。そんな風景を今日もぼんやり見えています。



やまゆりさん

「投稿ありがとうございます」

「ご返事します。」

○現金派 なのに財布はキヤッシュユレス。

…動きが取れません！

○名物の 本家と元祖

どっち買う

…どうする？

○お迎えを 長寿の秘訣

読んで待つ

…冥土のお土産です。

○生きてきた 短かったが

長かった。

…振り返れば、長かったようだし短かったようです。

○歩きたび 下腹揺れる

あまり肉

…ゆーらゆーら ゆらゆら！

○この体 アバラとたるみ

シワだけ元氣。

…風が吹くと飛ばされそう！

○便利さに ついて行けない

これ不便。

…どこが便利なんじゃ！

○これ会話 お前が「喋って」

わしが「うん」

…ほぼ一方通行。

いつもありがとうございます。楽しく拝見させていただきました。ありがとうございます。

おります。

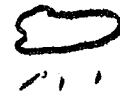
待っていた

春



夫の従兄弟が去年くれた桜の苗木を四本植えたのですが一向に花は付きません。世は開花宣言で賑わいであるこの時に何たることもない棒杭がたっていると思つたのですが今日、息子から貰つた一眼レフのカメラで望遠の最大のところで見るとありました！蕾の集団が枝から噴き出ていました。その下には黄緑色の蔭の蓋が並んでいました。嬉しい

事です。四本植えた桜が満開になつたら春爛漫です。コロナのせいで子どもたちには会えないけれど四季の中で思い出をたどって生きるこの頃です。



休会のゆめサロン



今回もまたお会いすることが出来ません。お元気なお姿にお会いできないで残念ですがもう少ししたらきつとお会いできると思います。平成二十年からずっと続いた集会を思い出して懐かしんでいます。帰ることは出来ません。そんなことから原田先生から戴いた写真は宝物ですね。元氣でお会いできる日を待ちましよう。

